

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	2	選択
担当教員			
小原 弘道			
LBA (基礎科目)	HC (人間と文化)	102 (基礎・入門科目)	

授業のねらい (概要)	この授業ではDPに記載のある調べる力、考える力、表現する力、特に表現する力を養成する。世の中にはいろいろな文章があります。小説、論文、評論、レポート、作文など。実用的な文章と非実用的な文章。公的な性格を持つ文章と私的な性格を持つ文章。いろいろ区分けがなされますが、境界はそれほどはっきりとしているわけではありません。本講義では、言葉とは何か、書くとはどういうことかを考えつつ、読む人にとってわかりやすい文章を書く練習をしていきます。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 授業のオリエンテーション。 授業目標、成績評価方法、授業の進め方などについての説明。</p> <p>第2回 復習 (時間) : 授業の内容をきちんとまとめる。(120分) 敬語 1 敬語の種類と使い分け。 敬語 (尊敬語・謙譲語) を場面に応じて適切に使い分けられる。</p> <p>第3回 予習 (時間) : 前の回に配布された問題・課題を自宅で行う。(120分) 復習 (時間) : 授業の内容をきちんとまとめる。(120分) 敬語 2 注意すべき敬語。 敬語の混同、二重敬語、マニュアル敬語といった適切ではない敬語の使用を確認し、適切な敬語を使えるようにする。</p> <p>第4回 予習 (時間) : 前の回に配布された問題・課題を自宅で行う。(120分) 復習 (時間) : 授業の内容をきちんとまとめる。(120分) 配慮と場面 配慮を示す言葉。 場面に応じての適切な言葉の使い分け・言い換えが必要となることを理解する。</p> <p>第5回 予習 (時間) : 前の回に配布された問題・課題を自宅で行う。(120分) 復習 (時間) : 授業の内容をきちんとまとめる。(120分) 文法 品詞・活用の種類。 文法を学ぶために必要な知識の再確認。</p> <p>第6回 予習 (時間) : 前の回に配布された問題・課題を自宅で行う。(120分) 復習 (時間) : 授業の内容をきちんとまとめる。(120分) 乱れた言葉 ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉。 「ら抜き言葉」「レタス言葉」「さ入れ言葉」といった公の場では不適切とされる言葉づかいを学ぶ。</p> <p>第7回 予習 (時間) : 前の回に配布された問題・課題を自宅で行う。(120分) 復習 (時間) : 授業の内容をきちんとまとめる。(120分) 文のねじれ 文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文。 主語と述語の関係、副詞の呼応など、言葉の係り受けについて学ぶ。</p> <p>第8回 予習 (時間) : 前の回に配布された問題・課題を自宅で行う。(120分) 復習 (時間) : 授業の内容をきちんとまとめる。(120分) 接続詞、指示語 接続詞・指示語と文章。 接続語・指示語の用法を整理して、文の論理関係や文章の展開について学ぶ。</p> <p>第9回 予習 (時間) : 前の回に配布された問題・課題を自宅で行う。(120分) 復習 (時間) : 授業の内容をきちんとまとめる。(120分) 類義語、反対語 類義語・対義語。 和語・漢語・外来語という種類の違いを理解する。</p> <p>第10回 予習 (時間) : 前の回に配布された問題・課題を自宅で行う。(120分) 復習 (時間) : 授業の内容をきちんとまとめる。(120分) 視点の問題 動詞の自他・視点。 文における視点の役割を学ぶ。</p> <p>予習 (時間) : 前の回に配布された問題・課題を自宅で行う。(120分) 復習 (時間) : 授業の内容をきちんとまとめる。(120分)</p>

	<p>第11回 話し言葉と書き言葉の区別 文体、話し言葉・書き言葉。 話し言葉、書き言葉の選択を意識的に行う。</p> <p>予習（時間）：前の回に配布された問題・課題を自宅で行う。（120分） 復習（時間）：授業の内容をきちんとまとめる。（120分）</p> <p>第12回 慣用的な表現 慣用的な言葉のつながり。 慣用的な言葉のつながりを学ぶ。</p> <p>予習（時間）：前の回に配布された問題・課題を自宅で行う。（120分） 復習（時間）：授業の内容をきちんとまとめる。（120分）</p> <p>第13回 漢字の成り立ち 部首・音訓・熟語。 漢字についての基本的な事項の再確認。</p> <p>予習（時間）：前の回に配布された問題・課題を自宅で行う。（120分） 復習（時間）：授業の内容をきちんとまとめる。（120分）</p> <p>第14回 表記のルール 仮名遣い・送り仮名。 表記のルールを学ぶ。</p> <p>予習（時間）：前の回に配布された問題・課題を自宅で行う。（120分） 復習（時間）：授業の内容をきちんとまとめる。（120分）</p> <p>第15回 まとめ 総合問題。 総合的な問題を通じて、今まで学んできたことを確認する。</p> <p>予習（時間）：前の回に配布された問題・課題を自宅で行う。レポート提出に備える。（120分） 復習（時間）：授業の内容をきちんとまとめる。（120分）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP2)に関して、情報の収集、分析を行った結果をきちんとした日本語にできる能力。 DP3)に関して、専門的分野の学びを、実務や社会で応用する能力を養うための基本的日本語力
到達目標	①大学生活やその後の社会人としての生活に必要な日本語力を身につける。 ②話し言葉と書き言葉の区分けが出来る。 ③大学生として恥ずかしくない程度の敬語が使える。 ④レポート・論文作成に必要な語彙力を身につける。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出された小テスト等は、全体的な注意点などを授業内で解説します。
履修上の注意	課題は期日を守って、きちんと提出すること。私語はしないこと。
成績評価の方法・基準	成績評価基準：学期末のレポート（50点）、学修意欲（50点）
教科書	なし
参考書・教材	【参考書】『スキルアップ！日本語力 — 大学生のための日本語練習帳 —』著者名：名古屋大学日本語研究会GK7 出版社：東京書籍 発行年：2009年 価格：1500円 「中学生からの作文技術」著者名：本多勝一 出版社：朝日新聞社 発行年：2004年 価格：1400円 「言語表現法講義」著者名：加藤典洋 出版社：岩波書店 発行年：1996年 価格：2300円 「日本語の作文技術」著者名：本多勝一 出版社：朝日文庫 発行年：1982年 価格：540円 【教材】必要に応じて適宜配布する
備考	講義科目
教員との連絡方法	Melly